

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年10月31日・第96号---

<目次>

●10月4日の横浜地裁判決の敗訴を不服として川崎市が控訴

■川崎市議会第4回定例会報告(2)川崎市は、民間委託と非正規職員増やしを改めるべき

▲お知らせコーナー

☆11/11～12/7「非平和映像集」平和館

☆11/12 水害被災地ガイドツアー・学習会

☆11/17 第3回川崎市政の未来をかたるつどい

☆11/18 学習会「多摩川は大丈夫か」part3

☆11/18～11/26 京浜協同劇団公演「獅子」

☆12/1～12/3 劇団わが町「あしものいずみ」2023

☆12/3 子どもの未来をひらく川崎集会

★編集後記

●10月4日の横浜地裁判決の敗訴を不服として川崎市が控訴

10月10日のメルマガでご報告した、川崎市教育委員会が教育委員会と教科用図書選定審議会の音声データの開示を拒否し、その取消しを求めた裁判に完全勝訴したその後の動きについてご報告します。

10月4日、川崎市教育委員会は横浜地裁判決(岡田裁判長)の中で、開示拒否をしたことへの言い訳をことごとく退けられました。

このことは、市教委から開示拒否を受けた私たちの審査請求に基づく「川崎市情報公開・個人情報保護審査会(市の設置する第三者的な意義を持つ、情報公開についての権利救済を保障する機関で、メンバーは法律の研究者や弁護士)の行った、

①教育委員会議の録音すべてを「開示するべき」

②教科用図書選定審議会の録音は「一部を開示するべき」

とする答申の正しさを判決として保障するものでもあります。

しかし教育委員会は、横浜地裁判決を不服として10月17日に東京高等裁判所に控訴する手続きを行いました。

今後は控訴手続から 50 日 (12 月 6 日) 以内に「控訴理由書」を裁判所に提出することになります。

この理由書の中で教育委員会がどのような主張を展開するかは不明です。

岡田判決は私たち原告の主張を完全に認めている画期的な判決ですが、その内容は決して新規なものではありません。

岡田判決の特徴は、今まで 20 年以上の期間にわたり国や全国の自治体が重ねてきた、情報公開に対する様々な裁判の判決の水準をしっかりと踏まえた、いわば情報公開の常識的な理解に基づいている点にあります。

また市教委は開示拒否する理由について、音声データを開示すると「委員が市民から文句を言われるのではないかと心配になって自由に発言できなくなるおそれがある」とか、そのために「事務または事業の適正な遂行に支障をおよぼすおそれがある」などと、抽象的な「おそれ」を繰り返し、その他も様々な屁理屈を並べましたが、その「おそれ」が実際に生じた具体例は一切示すことができませんでした。

岡田判決はこの点についても「音声データを不開示にした理由をきちんと述べて、不開示にしないといけない事実があることを立証するのは被告(市教委)が行わなければいけないのに、その責任を果たしていない」と市教委の無責任な態度をピシッと正し、屁理屈については「被告の主張は採用できない」などと断じました。

市教委が高裁に送る「控訴理由書」を見ないことには具体的な反論は行えませんが、岡田判決の水準を東京高裁でも維持し続け、情報公開の理念と制度に背を向け続ける川崎市教育委員会の姿勢を、まっとうなものに戻すための闘いに必ずや勝利しなければなりません。

横浜地裁に提訴した際にお寄せいただいたご支援に感謝申し上げるとともに、勝手ながら財政面などはほぼ限界に来ていますので、今後とも変わらぬ応援・ご援助のほどよろしく願いいたします。

情報公開制度を活かす川崎市民の会(畑山 裕)

■川崎市議会第 4 回定例会報告(その2) 川崎市は、民間委託と非正規職員増やしを改めるべき

この 30 年間、日本を「賃金が上がらない国」にしてしまった最大の原因は、目先の利益拡大の経営にはしる財界の要求に応じて、労働法制の規制緩和が繰り返され、低賃金で不安定な非正規雇用で働く人を労働者の 4 割 にまで広げたことだと指摘されています。

自民党政治は、「公共の役割」を縮小・放棄し、公務員削減と非正規職員の増大、業務の民間委

託をすすめました。

そのもとで、多くの公的分野でも人間らしい雇用が壊され、「人手不足」が深刻になっています。

9月市議会では、川崎市が正規職員を減らし非正規職員を拡大する施策をさらに進めようとしていることをめぐって、大きな論議となりました。

<学校現場では>

市教育委員会は、この十数年間にわたって、正規教職員の欠員を200名以上作り、臨時任用の教職員で埋めてきました。

しかし、2022年度に、産休や療休の先生の代わりに途中から、臨時で働く方の当てがなくなり、137名も先生が足りないという異常事態となりました。

1万筆をこえる賛同者を集め、「教員不足の解消で子どもたちが安心して学べることを求める請願」の審議が、8月30日に市議会文教委員会で行われました。

市教委は、「将来子どもの人数が減少し正規教職員が余剰になると困るから、臨時教職員を一気に減らせない」と主張し、市議会の他会派もこれに追随し、請願を不採択としました。

<市民館・図書館では>

9月議会では、市民館・図書館の指定管理者制度の導入を決めました。

川崎市は、その理由の一つに「経費削減」をあげて、市民館・図書館で働く正規職員を非正規職員に切り替えようとしています。

審議の中で、「非正規にすることで、一人平均150万円の経費削減になる。」とまで答弁をしました。

<川崎市全体では>

川崎市全体の職員についても川崎市の非正規職員を増やしてきた施策の変更を求める審議が行われました。

市全体では、10年前と比べて正規職員が500人減り、非正規職員は300人増えており、業務内容としては、特に窓口や事務作業において正規から非正規に置き換わっています。

正規職員では、6割が男性、非正規職員では8割が女性であり、賃金が正規の3分の1程度であり、まさに「ジェンダー不平等」「正規との賃金格差」を助長するものです。

しかも、正規職員への無期転換の権利もなく、5年ごとの公募などで雇用が不安定なうえ、一般職の非正規職員には、最低賃金さえも保証されない制度です。

学校、市民館や図書館、市役所など川崎市の「公共の場」での正規雇用を守り、働きやすい職場にしなければ、住民サービスの低下を招き、最終的に困るのは住民です。

川崎市は、同一労働同一賃金、ジェンダー平等に率先して取り組み、真の「働き方改革」を進めることを、強く求めます。

(市古ひろかず)

▲ お知らせコーナー

☆生き合うための「非平和映像集」

11/11～12/7 全て14時より1回

川崎市平和館

入場無料/要申込み・80名まで

<https://www.city.kawasaki.jp/templates/press/cmsfiles/contents/0000154/154614/Chirashi.pdf>

☆水害被災地ガイドツアー・学習会

二子排水樋門、平瀬川下流域見学ツアー

11/12(日)

集合/9:30/二子新地駅東口・交番側(東急田園都市線・大井町線)

解散/12:30/溝の口駅(予定)

主催/台風19号多摩川水害訴訟原告団・弁護団/台風19号多摩川水害を考える川崎の会

問合せ:fw547437@qa2.so-net.ne.jp (船津)

☆第3回川崎市政の未来をかたるつどい

11/17(金)18時半

高津市民館大会議室

入場無料

主催:川崎民主市政をつくる会

044-873-8655

info@newkawasaki.jp

☆学習会「多摩川は大丈夫か」part3

講師:中山幸男さん(元国交相関東地方整備局職員)

11/18(土)10時

中野島会館・和室(044-944-4268)

主催:多摩川と周辺の環境を考える多摩川の会

<https://tamagawanokai.jindofree.com>

☆京浜協同劇団公演「獅子」

「獅子」三好十郎作/演出:護柔一

11/18～11/26:10 ステージ

一般:3000 円

学生・障がい者:1500 円

要申込み:申込み先

044-511-4951

keihinkyoudougekidan@nifty.com

<https://www.keihinkyoudougekidan.com>

☆劇団わが町第 13 回公演

「あしものいずみ」2023

～陸軍登戸研究所をめぐる物語～

萩坂心一:作

ふじたあさや:潤色・演出

12/1～12/3:5 ステージ

一般:2700 円

学生:2200 円

小学生:1500 円

障がい者:2500 円

窓口:川崎市アートセンター

044-959-2255

問合せ:044-955-0107

<https://kawasaki-ac.jp/th/theater/detail.php?id=000520>

☆子どもの未来をひらく川崎集会

12/3(日)10時～16時

法政第二中・高等学校

講演:中塚史行さん(NPO 法人教育サポートセンター NIRE 代表)

安心できる 自信がつく 仲間ができる
～子ども・若者を真ん中にした場をつくる～
資料代:500円(高校生以下無料)

<http://miraishuukai.jugem.jp/>

★編集後記

イスラエルとハマスの軍事衝突をめぐり、国連総会の緊急特別会合で、人道目的での休戦などを求める決議が121か国の賛成で採択されました。

日本政府は、この決議案に対して、ハマスによる攻撃を非難する内容は含まれていないことを理由に棄権してしまいました。

理由はとってつけたようなもので、イスラエルを支援するアメリカに忖度したものです。

世界各地で、イスラエルを非難する大規模なデモが行なわれています。

トルコ・イスタンブールでは約150万人(主催者発表)が詰めかけました。

演説したエルドアン氏は「ガザで起きているのは大虐殺。イスラエルを止められない西側諸国にも責任がある」と強調しました。

ガザ地区はイスラエルとエジプト、地中海に囲まれた飛び地で、難民がその大部分を占めるパレスチナ人約200万人が、過密状態の下で貧しい生活を送っています。

ハマスは、イスラエルの打倒を目指して、自爆テロを繰り返していることから「テロ組織」の烙印を押されていますが、ガザ市民、パレスチナ人の多くが支持する政治組織でもあります。

とても狭い地域に押し込まれたガザ地域は、水も食料も電気もイスラエルに依存していて、戦争をすれば圧倒的にイスラエルが有利な事は一目瞭然です。

それなのに何故戦いを仕掛けるのか。

どうしたらこの戦争を止められるのか、もっと深く学びたい。(Y)

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/Skllu9UMrnK6?mail=akagixxx%40yahoo.co.jp

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp